

第二十八回 帝國議會
衆議院 腦虎脰肭獸獵獲禁止ニ關スル法律案外一件（（臘虎脰肭獸業者等ニ關スル）交付金下付ニ關スル法律案）委員會議錄（速記）第二回

會議

明治四十五年三月八日午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

塚田 啓太郎君

細川 義昌君

阿部 德三郎君

山際 敬雄君

三浦 覺一君

淺羽 靖君

小橋 桂太郎君

藏原 惟郭君

委員小寺謙吉君辭任ニ付キ其補缺トシテ本日武田貞之助君ヲ議長ニ於テ選定セラレタリ

委員小寺謙吉君辭任ニ付キ其補缺トシテ本日武田貞之助君ヲ議長ニ於テ選定セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 子爵内田 康哉君

農商務次官 押川 則吉君

大藏省國債局長 山崎四男六君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農商務書記官 鈴木 英雄君

農商務技師 北原 多作君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臘虎脰肭獸獵獲禁止ニ關スル法律案

○委員長（塚田啓太郎君） 是カラ開會致シマス

○阿部德三郎君 チヨット此際御尋ラシテ置キタノハ、此政府ヨリ御廻シニナツタ參考書ラ見ルト、臘虎、脰肭獸獵獲ノ頭數ト云フモノが出て居リマスガ、ソレニ據リマスト、

○阿部德三郎君 獵船ノ船名ガ掲載サレテ居ルノテアリマス、此交付金ノ見積書ト云フハ即チ此ニ掲載サ

レタトコロノ獵船五十二隻ニ該當スル譯デアリマセウカ

○政府委員（押川則吉君） 御尋ノ通デアリマス、但シ五十二隻ノ中ニハ沈没シタノ

モアリマス、ソレカラ又露西亞ト亞米利加ニ密獵ノ疑ノタメニ押ヘラレテ居ルノモアルノデアリマシテ、押ヘラレテ居ルノガ四艘アリマス、ソレモ此五十二艘ト云フ中ニ這入テ居ル

ノデアリマス

○阿部德三郎君 ソレヲ承リタイノデアリマスガ、沈没シタ船ハドレヘテ押ヘラレ

タ船ハドレヘテアルカト云フコトヲ、此表ニ據シテ御示シヨ顧ヒタイ

○政府委員（押川則吉君） 此一頁ノ一番末ニ海皇丸ト云フ船ガアル、是ハ四十四

年ノ八月中露西亞ニ押ヘラレテ居ルノデアリマス、二頁ノ所ノ後カラ三ツ目ノ所ニ東海

丸ト云フノガアリマス、是ハ四十三年中ニ米國ニ押ヘラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ一ツ

置キマシテ次ノ小富士丸、是ハ四十四年ノ七月ニ露西亞ニ押ヘラレテ居リマス、ソレカラモウ少シ後カラ二番目ノ所ニ耕洋丸ト云フ船ガアル、是ハ四十三年中ニ露西亞

ラ二頁ノ後カラ六番目ノトコロニ第一金丸、是ハ四十四年ノ八月以後行衛不明デアリ

マス、ソレカラ二ツ置イテ近海丸、是モハリ四十四年ノ八月以後行衛不明デアリマス、

ソレカラモウ少シ後カラ二番目ノ所ニ耕洋丸ト云フ船ガアル、是ハ四十三年中ニ露西亞

ニ押ヘラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ其次ノ清徳丸ト云フノハ四十四年ニ沈没致シマシタ
○阿部德三郎君 此亞米利加或ハ露西亞ニ押ヘラレテ居ル獵船ハ、是ハ現在ニ於テハ兎ニ角ニアリマスガ、將來解放サル、是ハ獵船ニアリマスカ、或ハ又沒收セラルルモノニ屬スルモノニアリマスカ、ソコハドウデアリマス

○政府委員（押川則吉君） 是ハ皆唯今裁判中ノモノニアリマシテ確定致シテ居リマス

○阿部德三郎君 此行衛不明若クハ沈没ニ係ル獲船等ニ對シテ、交付金交付ノ場合ニ於ケル政府ノ御方針ハ如何ニナツテ居リマセウカ、此法律案ニ依リマスルトソレドノ規定ガアッテ、何箇月以内ニ其獵船ヲ持ツテ來テ政府ニ示サケレバナラヌヤウナ規定ガアルノニアリマスカ、ソレハドウ云フコトニ相成ルノニアリマスカ

○政府委員（押川則吉君） 是ハ此第二條ノ第二項ニ「明治四十四年十二月十五日以前ニ於ケル該所有物ノ認定價格ノ七割」ト云フコトガアリマシテ、即チ認定シタ價格ノ七割ト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ第六條ニ唯今御尋ノ通リ其獵船ノ迴送ヲ命スルコトヲ得トナツテ居ルカラ「前項ノ迴送ヲ爲サル者ハ交付金ヲ受クルコトヲ得ス」トス

○政府委員（押川則吉君） 是ハ此第六條ニ依ツテ迴送シテ検査ヲシナケレバ、此價ヲ認定スルコトハ出來ヌノニアリマスカラ、此第六條ニ依ツテ迴送シテ検査ヲシテ、サウシテ交付金ヲ渡ス、斯ウ云フ趣意ニアリマス、實際是ニ依ツテ迴送シテ來ナイ船ハドウモ價額ノ認定ノシヤウガナインオテアリマス、又實際ニ於テハ亞米利加ノ方、又露西亞ノ方ニ永ク監禁ハ出來ヌカト思ラノアリマス、又實際ニ於テハ亞米利加ノ方、又露西亞ノ方ニ永ク監禁サレテ居ル船ハ、隨分壞レタノモアリマシテ、實際迴送スルト云フヤウナコトノ機會ガアツテモ、其事が出來ナイヤウナ状態ニアルモノアルヤニ承知シテ居リマス

○政府委員（押川則吉君） ソレハ第六條ニ依ツテ期日ト場所ヲ指定スルコトニナツテ居ルノニアリマスカラ、此指定ヲシタ期日内ニ迴送スルコトが出來レバ、ソレハ交付金ヲ歸ラヌダラウト思フ、ソレニ歸ツテ來イト云フ命令ヲ下スノハ少シ無理デハアリマセスカ

○政府委員（押川則吉君） ソレハ期日ノ定メヤウデアリマス

○三浦覺一君 今訴訟中ニナツテ控訴上告ト云フコトヲヤツテ居リマスト、ドウシテモ居ツテ、此期限内ニ歸ラレナカツタ場合ニハ無論ヤラヌコトニナリマスカ、訴訟ガ落著セズシテ内地ニ歸ル事ノ出來ヌ船ニ對シテ、交付ハシナイト云フ御方針ニアリマスカ

○政府委員（押川則吉君） ソレハ第六條ニ依ツテ期日ト場所ヲ指定スルコトニナツテ居ルノニアリマスカラ、此指定ヲシタ期日内ニ又其場所ニ持ツテ來ナケレバ仕方がナイ

ヤルコトニナリマスケレドモ、此指定ヲシタ期日内ニ又其場所ニ持ツテ來ナケレバ仕方がナイ

○三浦覺一君 ソンナモノニヤルト云フ御方針ニアリマスカ、内意ヲ承ツテ置キタ

○政府委員（押川則吉君） ワレハヤハリ一ツノ事實ノ問題ニナラウト思ヒマスガ、

其狀況ニ依ツテ是ハ決メルヨリ外ニハ仕方ガナイト思ヒマスガ、果シテ審判ノ模様ニ依テ

廻送ノ出來ヌヤウナモノハ、相當ナ期日ヲ定メテ廻送ヲ命ズルコトニスルヨリ仕方がナイト思ヒマス、サウ致シタ上デ尙廻送が出來ナケレバ仕方がナイト思ヒマスガ、中ニハ事實廻送ノ出來ヌヤウナ狀態ニ陷ツテ居ルモノモアルヤウデアリマスガ、兎ニ角之ヲ處理スルニ付テ、出來ルダケノ便宜ハ與ヘナケレバナラスト考ヘテ居リマス
○三浦覺一君 關係諸國トノ獵場ノ領海ト云フコトハ、何レノ國モ三海里ト云フコトヲ御互ニ守ツテ居ルノデアリマスカ、露西亞ノ如キハ十二海里ハ自分ノ領分ノ海デアルト申シテ、隨分日本ノ船ヲ押ヘタリシテ慘酷ナ目ニ遭ハセル、日本デハ沿岸三海里ト云フコトヲ始終守ツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、領海ト云フコトニ付テハ政府ハドウ云フ御取扱ニナツテ居リマスカ、又關係國が其沿海ニ依ツテ違フコトガアリマスカ

○政府委員(押川則吉君) 唯今ノ御尋ハ全般ニ通ジテノ領海ノ御尋ニアラウト思ヒマスカ、ソレハヤハリ三海里ト云フコトニ解釋ヲ下シテ居リマス

○三浦覺一君 露西亞デハ十二海里ト云フコトデアリマスカ、其事實ハアリマセヌカ

○政府委員(押川則吉君) 唯今ノ御尋ハ全般ニ通ジテノ領海ノ御尋ニアラウト思ヒマスカ、ソレハヤハリ三海里ト云フコトニ付キマシテハ特別ノ區域ヲメテ居ルコトガアルノデアリマス、ソレハ亞米利加ノ「ブリビロフ」附近ニ於テハ六十海里「コンマンドルスキ」附近ニ於テハ三十海里ト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、日亞ト亞米利加ノ間ト云フヤウナ處ニハ、此臘虎、臘膚獸ノ獵ニ付キマシテハ特別ノ區域ヲメテ居ルコトガアルノデアリマス、尤モ昨年ノ十二月十五日以後此條約が實施セラレタノデアリマシテ、唯臘虎ダケハ其國々ノ沿岸即チ三海里以内ニ於テハ獵獲スルコトが出來ル次第アリマス

○阿部德三郎君 臘虎臘膚獸保護條約ノ第六條ニ依リマスト「各締約國ハ前數本トハ是マテ何等ノ條約モナインデアリマスカラ、ヤハリ日本ノ方デハ一般ニ認メラレテ居ル三海里ト云フコトヲ標準ニシテ居ルノデアリマス、尤モ昨年ノ十二月十五日以後此條約が實施セラレタノデアリマスカラ、其以後ハモウ海ノ上ニ於テハ一般ニ臘膚獸ノ獵獲ハ禁止セラレタノデアリマシテ、唯臘虎ダケハ其國々ノ沿岸即チ三海里以内ニ於テハ獵獲スルコトが出來ル次第アリマス

○阿部德三郎君 臘虎臘膚獸保護條約ノ第六條ニ依リマスト「各締約國ハ前數條ノ規定ヲ有效ナラシムルニ必要ナル法令ヲ制定施行シ、且其違犯ニ對スル相當ノ罰則ヲ付スヘキコトヲ約ス」斯ウ云フコトガアルノデアリマシテ、即チ此條約ニ基イテ本法ノ罰則ト云フモノモ自然制定サレタモノデアリマセウガ、然ルニ此罰則ニ依リマスト一箇年以内ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處スト云フヤウナ規定ガアルノデアリマスガ、是ハ條約國悉ク同一ノ罰則ニ依ルノデアリマセウカ、或ハ國ニ依ヅテ異ナルモノデアルカ、即チ日本ニ於テハ懲役若クハ罰金デアルケレドモ米國或ハ露西亞ニ於テハ單ニ罰金刑ノミニ依ル或ハ體刑ノミニ依ルト云フヤウニ、締約國ノ國情ニ依テ各々其罰則が異ルナルノデアリマセウカ

○政府委員(押川則吉君) 唯今御尋ノコトハ列國一樣ニ此刑罰ヤ何カラ極メルト云フコトニハナツテ居リマセヌ、各々其國ノ狀態ニ依テ又他ノ法律上ノ關係ニ於テ無論極メル次第アリマス、露西亞ノ方デハ現ニ海上ノ獵業ハ禁止シテ居リマス、一切海上ノ獵業ハナラヌコトニナツテ居リマス、而シテ其刑罰ハチヨット茲ニ其譯文ガアリマスガ、重罪刑法ノ第九百二十一條ノ一二「海面ニテ臘膚獸獵ニ從事シタル者及許可ナクシテ陸上ニ於テ臘膚獸獵ニ從事シタル者ハ二箇月以上一年四箇月以下ノ禁錮ニ處ス獵具獲物獵船貨共沒收ス」ト云フ現行ノ規定ガアルサウデゴザイマス、ソレカラ亞

米利加ノ方デハ前回ノトキニモ申上ゲマシタガ、現ニ議會ニ上ツア居ルノデアリマス、其案ニ依リマスト云フト、該協約即チ此條約ノコトヲ言ヒマス、本法又ハ關係規則ノ規定ニ違反シタルモノハ、其犯則毎ニ二百弗以上一千弗以下ノ罰金又ハ六箇月以下ノ禁錮ニ處ス、ソレカラヤハリ此沒收ノ規定ガアルヤウデアリマス、是ハマダ議決シテ居リマセヌ、唯今折角議ニ上ツテ居ルヤウニ記憶致シマス、亞米利加ノ現行法ガアル、ソレハ罰金二百弗以上二千弗以下ト云フノデアリマスカラ 同ジデアリマス、ソレカラヤハリ禁錮ノコトモ六箇月以下ノ禁錮ニ處スト云フコトニナツテ居リマス、其點ハ格別現行法ノ今度ノ改正案ト變ツテ居リマセヌ
○三浦覺一君 各國共ニ漁船漁具等モ悉ク沒收ノ規定ガアリマスカ
○政府委員(押川則吉君) 唯今申上ゲタ通リニ、サウ云フコトニナツテ居マス、露西亞亞米利加英吉利ナドハアルコトハアルノデスガ、唯今分リマセヌ
○山際敬雄君 此保護條約ニ依ツテ日本ガ年々受クルトコロノ金ハドンナモノデスカ分リマセヌカ
○政府委員(押川則吉君) 唯今ノ御尋ハ此條約後ニ、日本が此條約ニ依ツテ受クベキ金額ハ凡ソドウナルカト云フ、斯ウ云フ御尋ニアリマスカ
○山際敬雄君 サウデス
○政府委員(押川則吉君) ソレハ條約ノコトカラ申上ゲネバナラスト思ヒマスガ、此條約ノ第十條ニ依リマスト云フト、亞米利加合衆國ノ方ハ獵獲シク獸皮ノ百分ノ十五ト云フモノヲ日本ニ渡スコトニナツテ居リマス、是ハ亞米利加ハ直ニ實行スルデアラウト思ヒマスガ、併シ此條約ノ第十一條ヲ御覽ニナリマスト、茲ニ又多少ノ種々ナル條件ガアリマスガ、併シ此第十一條ノ一番終リノ方ニ行キマスト、亞米利加ノ方ニ臘膚獸ノ總數が調査シタ上ニ於テ十萬頭以下ニ下ルト云フト、此金ノ仕拂モセヌデ濟ムト云フコトニナツテ居リマス、併シ此末項ハ事實ニ於テサウ云フコトハアルマイト信ジテ居ルノデアリマス、ト云フノハ此條約ノ當時デサヘモ、亞米利加ニハ十三万頭居ツタト云フコトデアリマスカラ、十萬頭以下ニ下ルコトハナイグラウト思ヒマス、サウスルト亞米利加ノ方カラハ先づ百分ノ十五日本ニ配當スルモノトスウ見ルノデアリマス、ソレカラ露西亞ノ方ハ五箇年間ハ配當シナイデ宜イコトニ第十二條ニナツテ居リマスノデ、五箇年經ツト云フト、ヤハリ百分ノ十五ヲ日本ニ配當スルコトニナツタノデアリマス、尤モ此間ニ種々ノコトガアリマスガ、大體サウ云フコトニナツテ居リマス、大體ノ數ニ依ツテ計算致シマスト云フト、此計算ノ仕方モ種々アルノデアリマスガ、サウスルト先方ニ臘膚獸ノ總數が幾何アルト云フコトガ第一ニ立タナクテハナラヌノデアリマス、ソレカラ一體臘膚獸ト云フモノハ如何ナル割合ヲ以テ繁殖スルモノデアルカ、斯ウ云フコトモ見ナクテハナラヌ、サウシテ此處ニ計算致シマシタノハ先づ亞米利加ノ方ハ十三万頭條約締結ノ當時アツタト云フノデアリマス、即チソレハ昨年アリマスカラ、其方ヲ餘程急ニ取ツタモノト斯ウ考ヘテ茲ニ計算ヲ立テタノデアリマス、即チ亞米利加ハ第一ニ於テハ八十一萬七千頭アルモノト見ルノデアリマス、ソレカラ露西亞ノ方ハ此締結ノ當時ハ一万八千頭アツタト云フコトデアリマスケレドモ、ソレヲ一万六千二百頭アツタモノト斯ウ考ヘマス、サウシテ此臘膚獸ト云フモノハ幾何づ、繁殖シツ、アルモノデアルカ、是ハナカクムツカシイ問題デアリマスガ、今日マデ亞米利加邊ニ最モ此事

ノ利害ノ趣味ヲ以テ研究ヲ致シテ居る學者ガアツテ、其學者ノ研究ニ依ルト臍肭獸ハ年々一割六分宛蕃殖シテ行クモノデアル、ソレダケ餘計増シテ行ク、斯ウ云フ計算ニアリマス、其計算ニ依ルソレヲ土臺ニシテ茲ニ勘定スルノデアリマスガ、併シ其中ノ幾何ヲ取ルカト云フコトハ條約ノ中ニハ何ニモ定マツテ居リマセヌ、全體ノ一割ヲ取ルカ若クハ五分ヲ取ルカト云フコトハ、何モ規定シタコトハナインデアリマス、併シ今日マテノ亞米利加露西亞若クハ各國ノ當局者ヤ何カノ考カラ推シマシテ、凡ソ獵獲數ハ上陸シタ總數ノ——卽チ今申上ゲタ數ノ凡ソ八分位取ルモノデアル、卽チ一万頭ノ中ノ八百頭取ル、斯ウ云フ計算ヲシテ行キマスト、是ハ第一年ノコトヲ申上ゲテモ仕方ガナインデアリマスカラ、十五箇年ノコトヲ申シマス、十五箇年ノ計算致シマシタ數ハ前申上ゲマシタ總テノ數ヲ土臺ニシテ行キマスト、亞米利加ノ方ハソレニ依ル計算致シマシテ、日本が合衆國カラ受ケル數デゴザイマスナ、ソレハ十五箇年間ニ七万一千五百十頭トナリマス、ソレ

○政府委員（押川則吉君） サウ云フ勝手ナコトハ出來マセヌ、苟モ一國ノ代表者ガ
外ニ出テ行ツテ條約ヲ結ンデ居ツテ、事實サウデナイモノヲ十万頭以下ニ下ツタト云フコト
ヲ言フト云フコトハ事實アルマイト思ヒマス、之ニ就テハ海外ニ人ヲ派遣シテ相當ノ是等
ニ就テノ視察ヲスルコトノ出來ルヤウニナツテ居リマス、サウ云フヤウナコトハ事實無イト思
ヒマス、條約ヲ結ンデカラ十二万ヲ下ツタコトハナイノデアリマスカラ、今ノヤウナ宜イ加減
ノコトヲシャウトシテモソレハ無論出來ヌコト、思ヒマス

○藏原惟郭君 私ハ遅レテ來マシタカラ前三御尋ガアツカ分リマセヌガ、尙御尋シマスガ、尙御尋シマスガ、
此本案ハ煩爾吾ミノ期待シテ居ツタ法案デアルガ、私ハ此事ニ就テ少シ参考トナルベキコ
トヲ御尋シタイ、此賠償ニナルベキ船數ハ五十二艘ト云フコトハ確デアリマスカ、此中ニ
最早七八艘ノ船ハ破損シテ居ルト云フコトカ、行衛不明ト云フヤウナモノハアリマセヌカ、
其邊ハドウ云フモノデスカ

カラ露西亞カラ受ケマスノハ九千二百八十四頭ゴザイマス、之ヲ金ニシテ總額シカ分リ
マセヌガ、是ハチヨット計算ヲスレバ分リマスガ、之ヲ五十圓——一頭五十圓ト云フ割デ
計算シテ見テ下サレバ出ルノデアリマス、是モ値段ハ五十圓、五十五圓、四十五圓ト云
フノガアッテ、ハッキリハ分ラヌガ、先ツ五十圓トシテ計算シテ下サレバ其總數ハ出ル譯

○政府委員(押川則吉君) 是ハ先刻既ニ御答致シマシタガ、尙答ヘヨト云フコトデア
レバ御答シマスガ
○藏原惟郭君 序ニ尙御尋シマスガ、是等ノ船ニハ全體ニ對シテヤハリ賠償ヲ爲サル
ノハ五十二艘ニ……

デゴザイマス、ツレカラ是ハ今申上ゲマシタ通りニ其總數ノ八分ヲ取ルトシテノ計算アリマスガ、尙七分トスレバドウナルカ、五分ヲ取ルトスレバドウナルカハ計算モ此處ニ出テアリマスカラ、御必要テアレバソニ依テ申上ゲマス、尙此問題ハ日本ノ之ニ依テノ全體ノ所得ト云フモノハ、ドンナモノデアルト云フコトノ御答モ必要テアラウト思ヒマスガ、

○政府委員（押川則吉君）　ソレモ先刻一通リ御答致シタノデアリマスガ、是ニ於テ此法律ニ依テ相當船ノ検査ヲシテ、サウシテ價格モ見積ヲ立てサセルコトニナリマスレバ、ソレニハヤリマス法律ノ規定通りニ、其船ヲは先刻モ申シマシタガ露西亞ニモ亞米利加ニモ監禁サレテ居る船ガアルガ、其船ヲ持ツテ來ルコトが出來ルト此方カラ指定シタ期

日本ハ今申シマシタ合衆國ヤ露西亞ガテ受ケル外ニ日本ノ領地ニ屬シテ居ル海豹島ノ所得ヲヤハリ計算致シマス、此ヤウナ内容ノ收入ガアリマスカラ、ソレ等モ入レマシテモ總テノ計算アリマスレバ、丁度此處ニ据ヘタノガアリマス、前申シマシタ八分ツ、取ルトコロノ計算デアリマスト云フト五百万圓餘ニナリマス、十五箇年デ、ソレデ即チ四百六十万圓ニナリマス、支ノ一攷ノ直役ハ五十圓ドリマス、ツノニハ毎約當三ハシニ

○藏原惟郭君 尚御尋シマスガ、此交付ノ割當ハ五割、七割、十割、二十割ト云フ
風ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ多少公平ヲ失シテ居ルヤウナ點ガアリハセヌカト思フ
ソレデ此船ニ對シテハ是マテ獎勵金ト云フモノハ補助金ガシテアリマスカ、サウ云フ點ハ

ス、ソレカラ七分ハ向ノ漁獲税ヲ七分ト見マシテノ計算デアルト云フト、丁度四百五万一千圓ト云フ 計算ニナリマス、尙下ツテ是ハ事實ハ斯ウ云フコトハナイト思ヒマスケレドモ、五分ダケシカ取ラヌト云フコトノ 計算ニナルト二百八十八万三十圓ト云フモニナリマス、尙序ニ申上ゲテ置キマス、前申上ゲマシタノデ亞米利加カラ取ル金ガ三百六十

○政府委員(押川則吉君) 此獎勵金ハ 四十二年マデ下附致シテ居リマス、其後ハ止メタノデアリマスガ、交付金ノ率ヲ定メマスニ付ア 奨勵金如何ト云フコトハ見テアリマヌ、是ハ全クソレハ即チ船ノコトアラウト思ニマス、主シテ三

二万五千圓、ソレカラ露西亞カラ四十六万圓トスウ云フコトニナリマス、是が一番初メノ御問ニ對スル日本ノ所得ノ計算デアリマス、サウシテ八分ヲ殺スト云フコトノ計算デアリマス

○藏原惟郭君、尙御尋致シマスガ、獎勵金ハ大抵ドンナコトニアリマスカ、茲ニハ一頓ニ付テ十八圓以上ニ二十三圓トアリマスガ、是ハ事實デゴザイマスカ

三清覺一君、十万頭以下ニ下タ時ニハ日本ニハ所得ハ何モ出サヌト云フコトニナッテ居リマスガ、十万頭殺シタ云フヤウナ捕獲數ノコトナドハ、總テ向フノ自由ニナッテ居リマスカ

アリマスガ、三十一年カラ四十一年マテ漁撈獎勵金トシテ、船ノトキニハ大抵サウナツテ居リマス

○政府委員（押川則吉君）　十万頭以下ニナルト云フト、日本若クハ英吉利ニ配布スルコトヲセズニ置クト云ブコトが出來ルト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマス

ニ對スルコト、尙續イテ近來露西亞ハ沿海州ノ漁權ヲ擴張シテ十二海哩ニシタイト
云フコトヲ日本政府ニ交渉シテ居ルト云フコトアリマスガ、露西亞トノ領海區域ノコト

○三浦豊一君 ソレニ就テハ何モ日本ハ喙ヲ容レマセヌカ、條約ガサウ云フコトニナツテ居ルカラ遣リタクナイトキハ十万頭以下デアルト云ツテ……

ニ付テハ果シテ吾々ノ聞ク通リデアリマスナラバ、ソレヲ承リタイノデアリマス
○外務大臣(子爵内田康哉君) 御答致シマスガ、臘虎、脣内獸獮ニ關スル會議ハ、

昨年五月十一日ヨリ七月七日まで即チ殆ドマル二箇月デゴザイマス、二箇月ニ亘シテ本會議ヲ開イタガ十二回、評議會ヲ開イタノガ十八回、都合二十回開キマシタ、存外議論モアツタ會議デス、御承知ノ通リ臘肺獸問題ハ餘程長イ歴史ヲ持ツタ問題デアリマシテ、其爲メニハ關係國ノ間ニ殆ド戰端マテ開カントシタ問題デス、始メテ明治二十年ニ會議ヲ催シタ其時ハ、日本ト亞米利加ト露西亞ト三箇國ガ會合致シタ、英吉利ハ之ニ參加スルコトヲ拒ミマシタが、當時ハ無論始メカラ英吉利モ參加サセル積リテ、華盛頓政府ハ華盛頓ニ會議ヲ催フシタコトデアリマシタが、英吉利ハ參加ヲ拒ンダノデ已ムヲ得ズ三國ア條約ガ出來マシテ、其條約ハ英吉利ガ參加シナケレバ之ヲ行ハナイト云フ條件附テ結ンダガ、結局英吉利ハ參加シナイ故ヲ以テ、其條約ハ實行ニ至ラズシテ罷ンダノデアリマス、ケレドモ臘肺獸ノコトニ付テハ亞米利加ハ餘程關係ヲ持ツテ居リマシテ、啻ニ利益ノ問題ノミテナク之ニ對シテ確カ此間日本ニモ參リマシタ「カリフォルニヤ」「デヨルグ」博士ヲ首メ、人道的觀念ヲ以テ之ヲドウシテモ保護シナケレバイケナイト云フ考ヲ以テ、每々新聞紙デモヤカマシイ問題トナッテ居ルノデアリマス、然ルニ近來ハ日本ガ最モ活動ヲ致シマシテ、此臘虎ヲ濫獲スル其タメニ船ガ捕ハレタリ何ニカスルモノガ澤山アルノデ、此問題カラ日本ト亞米利加トノ紛糾ガ絶エナイ、從テ日米ノ國交ニモ影響スルト云フヤウナ次第アリマス、ソレデ三十年ハサウ云フ風デ終リマシタケレドモ、亞米利加ハドウシテモ會議ヲ開カナクチヤナラスト云フコトデ、遂ニ三十年ニハ參加ヲ拒ンテ、英吉利ヲ先ヅドウカシナケレバナラスト云フ考ヲ持チマシテ、會議ヲ開ク前ニ英吉利ト特別ノ條約ガ出來其大綱ヲ申シマスレバツマリ英吉利ニ亞米利加ノ臘肺獸ノ棲息場カラ上ガルトコロノ總數ノ一割ヲ、毎年英吉利ニヤルト云フノガ土臺トナッテ一つノ條約ガ出來マシテ、ソレ故ニ英吉利ハ此會議ニ參加スルコトニナッテ、遂ニ四國ノ會合ヲ見ルヤウナコトニナッタノデス、ソレテ唯今申シマシタヤウニ昨年ノ五月ヨリ會議ヲ開イテ殆ド二十回程會議ヲ開キマシタ、此間ノ曲折ヲ申シマスルト良カラウト思ヒマスガ、此會議ハ祕密ニアリマシテ、祕密ノ解禁ガナイ以上ハドノ國アモ祕密ニスル約束ニナッテ居リマスカラ、是ハ祕密ニ願ヒマス

○阿部德三郎君 ソレデハ此際大臣ノ説明ヲ聽ク爲メニ祕密會ヲ請求シマス
○委員長(塚田啓太郎君) ソレデハ是カラ祕密會ニ移リマスカラ、委員諸君、政府委員及大臣ヲ除クノ外ハ、皆退席ヲ願ヒマス

午後二時十一分祕密會ニ移リ散會トナル

衆議院臘虎臘肺獸獵獲禁止ニ關スル法律案外一件委員會議錄第一回

中正誤

頁	段	行	誤	正
一	上	一二	阿部德三郎	小橋榮太郎
一	下	二六	職事	職業